

ふかまちのまど

連合町内会活動報告

三原「ちんこんかん」合同奉納

太鼓踊り保存会

会長 西本 薫

三原市新倉、大須賀神社（牛神社）で十六日五穀豊穣や恵みを願う伝統の太鼓踊り「ちんこんかん」が行われ、市内六団体が合同で奉納しました。



中国新聞記者に入川博君がインタビューを受け、「振動がビリビリきたのしかった」とコメントしていました。五穀豊穏祈願及び、先祖を送る太鼓の音が聞けないと盆は寂しく思つていきましたが、十六日は朝から晴天で、子供会の強い希望もあり今後も、六年生に伝統の太鼓踊りを伝承し継続して行きたいと思います。

町内の皆様のご協力を引き続

深町子どもを守る会

子どもをみんなで
守りましょ。

深小の子供は



○午後四時過ぎに下校します。
※下校時間は日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょ。

○あいさつ
声かけをしましょ。

「深小だより

三原テレビ放送
ポボロで行われた

三原市戦没者
原爆死没者追悼式並びに
平和祈念式典で読んだ深小

学校の児童の言葉です。

平和への願い

深町では、昨年豪雨災害により全ての行事が中止となり、本年度も台風により盆行事が中止されました。二年連続で盆行事が中止され、五穀豊穏祈願及び、先祖を送る太鼓の音が聞けないと盆は寂しく思つていきましたが、十六日は朝から晴天で、子供会の強い希望もあり「ちんこんかん」に参加して、子供達も大きな声を出し活気ある奉納が出来ました。

今から七十四年前の八月、世界で初めて広島と長崎に原子爆弾が落とされました。そして、たくさんの人の命がうばわれました。私は、長崎に住んでいる八十歳の祖父がいます。以前私は祖父に原爆について聞こうとした事がありました。祖父はその時、とても悲しそうな様子だったので、私は聞くのをやめました。そして、私は広島に帰った後、祖父からファックスが届いていました。それには、次のような事が書かれていました。

「ふかまちのまど」ホームページのアドレスは
<http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html>

石井精一様 七月三十一日
（下組四班）

謹んでお悔やみ申し上げます

これまでに、広島では三十万人、長崎では十七万人以上の方が、原爆の影響でなくなっています。これだけ多くの人々の命をうばい、繰り返してはいけないと私は強く思いました。私にこれからできる事は、原爆についてもつと深く知り、祖父が教えてくれた、平和の大切さと素晴らしい悲さんな出来事を繰り返さぬよう、争いのない平和な社会をつくっていきます。

令和元年八月三日

三原市立深小学校 六年 德永 遥

令和元年八月三日
三原市立深小学校 六年 德永 遥

令和元年八月三日

如水館中学・高校 一二〇日
敬老の日（一・二年参加） 一三日
放課後子ども教室 一六日

令和元年八月三日

合唱指導 一七〇日
始業式 一二日
合同長期宿泊体験（五年） 一六日

令和元年八月三日

P.T.A.役員会 一〇日
クラブ 九日
PTA役員会 一〇日

令和元年八月三日

小学校 一六日
敬老会 五日

令和元年八月三日

【防犯少年ソフトボール大会】
深町子ども会ソフトボール監督 賴兼 和秀

八月十七日（土）やまみ運動公園にて防犯少年ソフトボール大会が開催され、深町子ども会ソフトボールも健闘してきました。

初戦の相手は久井ロックマリーンズでした。先制点を入れたのは深町で、五年生市川陽翔君がツーランホームランを打ち二対〇となりました。しかし、裏に一点、五点で負けてしまいトーナメントを上がる事ができませんでした。良い試合だった分、悔し泣きをする選手もいました。

私自身もとても悔しかったです。

深小学校に帰ると選手達から「練習がしたい」という申し出があつたので練習を行いました。今大会の悔しさをバネに九月八日（日）に行われる、広島県少年ソフトボール大会で良い記録を残せる様、日々頑張っていきます。応援に来て頂いた保護者の方々、ありがとうございました。

歩く会幹事 石井 堂熙

尾道市美ノ郷町
長者原工業団地周辺



歩く会幹事 石井 堂熙

尾道市美ノ郷町
長者原工業団地周辺

月 日 九月二十四日（火）
予備日 九月二十六日（木）

行程
八時三〇分 深町上組公民館発（車）
九時〇〇分 工業団地周辺探訪
十一時三〇分 探訪終了（昼食）
十三時〇〇分 深町上組公民館着（車）

深町の植物

力石 卓夫（三原市宗郷）



《オカトラノオ》
オカトラノオ（岡虎の尾・丘虎の尾）の名前は、根元のほうから先端に向けて、長く伸びて花が咲き上がつていて、この花穂の姿が「虎の尾」のようなどころから由来する。

※六月七日撮影

